明治の女子

第六巻
第貳號

東京市麴町區土手三番町十五番地
日本基督教女子青年會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治の女子　第六巻　第貳號

目次

特別寄書

修養と宗教
傳道開始五十年紀
愛と國民性　柏井園

講壇

死生論
信仰の復活　綱島佳吉
デビス博士說教

史傳

ヘレン、ケラー嬢
亞弗利加のリビングストン(一)

文苑

生命の鍵　志良爲生

もしほ草

志高き婦人
本分に從へ

落葉籠

氣轉も資本の一つ○音樂と色○害虫の損害一年各一億五千圓○天才は末子に多し

海外たより

米國に於ける青年會及其事業○シャッシャル嬢の日本に關する演說○モット氏の歐洲に於ける運動

會報

女子英學塾青年會○青山女學院青年會○フエリス女學校青年會○共立女學校青年會○同志社女學校青年會○廣島女學校青年會

明治の女子定價

部數	定價(郵稅共)	海外
一部	金五錢	金九錢
十二部	金五十錢	金一圓

明治四十二年二月廿七日印刷
明治四十二年二月廿八日發行

發行兼編輯人　エー、シー、マクドナルド
東京市麴町區土手三番町十五番地

印刷人　島連太郎
東京市神田區美土代町二丁目一番地

印刷所　三秀舍
東京市神田區美土代町二丁目一番地

修養と宗教

近時道德、宗敎界に於ける思潮は漸くに轉々して、今や一層の深海に進みつゝあるは欣ぶべき現象と云ふべし、只單に思辨にのみ傾き、哲理妙想を得るを以て快とせしに反動して實地の活動、觸目の事業に重きを置き、思想あり、信仰ある青年は其方面に馳せつゝ救世軍の實際的活動を稱賛し若しくは之れに加はるものさへある有樣にして而して今や更に再變して、人は決して只熱心なる活動、大擧の傳道によりて世を益し、衆を化し得るものに非ずして其最も尊ぶべきは實踐躬行に在り、其最も重んずべきは品性、人格に在りとなし、頻に修養の必要を說き自らも、亦此一事を最も能く盡さんとするあるは吾人の近時見る所なり、曰く說敎力なく、文章益なく、只實行に依つてのみ、人を救ひ世を益すと、故に更に曰く現今の最大要務は修養に在り、修養に依つて得たる人格、修鍊に依つて得たる品性之れ實に何事よりも現時の必要とする所なりと、之れ實に我國の宗敎道德界に於て一段の進步と認むべき所にして靈性發展の順序に追々佳竟に向ひつゝありと稱すべし、吾人は此時機を迎へて茲に我國の基督敎會及び全般の同胞が堅實なる理想に依りて只品性能く品性を生むの眞理を深く味ひ、內は以て國內民衆の品格を高上し、外は以て宇內に對して品性の進步の光を顯揚せんことを切望す。

然りと雖茲に必要なる硏究問題は人格は如何にして修養され得るやとのことなり、只自己を中心として其充實を計るを以て其目的を達し得べきや、又は只他愛の主義を以て平常の修養を計るべきや、夫れ人の品性に於て其依つて馨ばしき所以は第一に自己を忘れて他の爲めに盛すの精神に在り、其の斯の如き實行に在り、人の能く之れを慕ひなつくに至るは此點に在つて存ず、即ち仁愛儀俠の志を行ふば人格の尊貴なる所以とす、然り而して自己の智能才力を充實せしむるの修養の主義は果して能く此目的を達し得べきや、是れ實に深き考慮を要する所なりとす、而して事實は證明す、之れ決して眞實の方法に非らざることを、夫れ已に人格養成の出立點に於て自己の才能の充實を標榜すとせば恐く其一生の方針は此軌道に依つて步み、其中心點とする所は矢張自己を利するに在り自己を益するに終るに至らん、之れ實に人格の最貴の冠たる愛の精神を後にして只衣帶を飾るに終らんことを意味する非らざる乎、夫れ博愛義俠の冠なき品格は王者の人格に非らざるなり、之れ實に吾人の理想とする品格に非らず、否世の最も必要とする人格氣品に非らざるなり、同じく人格の修

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

養を目的とす、然も其結果に於て斯の如き差を生ずるは所謂毫末の差其發程に在り、爲に遂る斯の如き終決の差を見るに至れるなり、是れ豈に恐るべき事實に非らざる乎、然らば如何なる人格修養の方針は能く以上の如き憂を除去し得るやに就て述ぶ、前に先づ他の方針に就て研究する所あらん。

只單に他人の必要を充たす爲めに自個の才能智力を養成せんとする者は果して能く誠に世を益し人を幸ひし得るや、夫れ他人中心の修養法は屢人を驅つて器械の如くならしめて只單に社會の爲めに東走西驅し事業の根底薄く、活動の波及淺くして能く人を動かし世を改むの人格を修養するに足らざるを知るなり、夫れ品性の權威ある所は確信に在り、其の理ありと信ずる所、途ありと感ずる所は猛志邁往爲し終げずんば止まざるものあり、然も亦爲すべからず言ふべからずと思ふ所は沈默して決して語らず、靜止して爲さず以て活動靜止一に自個の確信より生ず之れ實に品性の貴き所以なりとす、然るに單に他人の必要、社會の要求を充てんとする爲に才能智力を養成せんとするの弊は此の品性の根底となり錨たるべき權威自信を失ふに依ることあり、之れ實に恐るべき結果と云ふべし、他愛仁俠の念や善なり之れ實になかるべからざるの精神なり、然れども尙此他に能く品性人格を修養すべき主義方針なくんば能く自個中心主義と他愛仁俠主義との間に立ち、右に偏せず、左に馳せずして中庸の道を得て眞正の修養の目的を達すること難しとす、而して其中庸適宜の道とは何ぞや、今是れより研究する所あらんとす。

人間の修養の道の中正にして適宜なるものは神を中心とすることなり、人の第一の要務は神に仕事するに在り、神に仕事することを後にして人に仕事することを先にするものは決して中正の道にあらず、況んや自個を中心として其充實を計らんとするものをや、必ずや過誤の結果を來さん是れ吾人の詳述したる處去れば吾人にして先つ第一に全心全力を盡して神を愛す、神を敬す、茲に於て乎吾人は中庸の道を得て能く人格の發達を期するを得ん、吾人は何事に於ても神に仕ふる精神を有し、其見識を懷いて進む時は其學窓に在る日に於ても亦社會に活動する時に在つても吾人の品位自ら成り、吾人の氣品自ら高からん。

夫れ人生に於て必要なるは現時の境遇に超へて活ける高き理想を懷き勇往邁進するに在りとす、又當時の社會の要求以上に立つて世を導き人を致ゆるの氣慨なかるべからず、尙又自らは高遠尊貴なる者の前に立ちて恭謙にして從順只管其命に違はざらんことを恐るゝ體度を備へざるべからず、之を言ひ換ゆれば敬虔の念なりとす、此心事あり以て神に仕へ人に對して日々其道を守つて止まずんば品性自ら成り、人格自ら高きに至らん。

即ち知る信仰に進むの途之れ品性修養の最良最要のものなることを、然らば現今品性修養の必要を知るの士女にして已に信仰の道に在る者は自己の裏に已に修養の最善の鍵あるを思ひ決して左右を顧聘せずして神の前に敬虔の德を全ふしつゝ進まんことを、又まだ信仰の門に入る能はざる人は進んで

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

斯道を研鑽し以て品性高上の道は實に基督教信仰の中に在ることを知るに至らんことを。

傳道開始五十年紀

本年は最も紀念すべき傳道開始五十年に相當するを以て内外教師等は相會し其祝會を開くべき準備をなし、大に之を祝賀せんとし、且つ各教會に於て特別に之れが爲めに準備し祈禱會及び說教會を開き以て本年に於て靈的覺醒の著しく傳道の功果大に擧らんことを祈り且つ勵めつゝあるなり、吾人男女青年會に於ても此時機を利用して皆共に大に聖靈の恩化を蒙り、活ける基督の生命の働き給ふことを覺へ、更に進んで大に傳道の精神を鼓舞振作せざるべからず、而して青年會史上に一大革新の起るべき活働を開始せんことを企てざるべからず、而して之をなすの一大要件として希くは祈禱の精神を奮起して先づ各自の心に基督の聖意の成らんことを勉めざるべからざるなり、各自の胸に基督の罪人の爲めに十字架に掛り給ふたる意義が明に理解せられざるべからず、而して又各自の心に基督が汝罪人の爲めに立て働けとの命令が强く聞へて則ち奮進するの勇氣を得んことを勉めざるべからざるなり、更に之を繰り回して言はゞ我等の中に早天の祈念の實行大に奮ふて神より下し給はんとする聖靈の神の指導に從順ならんことなり、吾人の靈的の發展は全く神に身を献じ其示命に服從する決心ある時にのみ成就せらるゝに在るを。

特別寄書

愛と國民性

柏井園

△近頃歐米を漫遊して歸りたる或る人の話に、西洋の馬や犬のおとなしきは著しく目に著くことなるが、彼の地に住める日本人之を飼へば往々にして犬馬の性荒くなる、之を元の飼主の手に返すとしばらくして復たをとなしき性に復ると云ふ事實を聞けりと。或は然らん。東北の馬は東北人に似、鹿兒島の馬は鹿兒島に似ると云ふ。レッキイの歐羅巴道德史など讀めば、中世の聖者に猛獸の馴れ親しみし話を多く載せたり日本人の飼ふ動物の温和なる性を失ふこと果して事實ならば日本人の性情に愛、殊に靜なる愛の足ざる所あるを示すものに非ざるか。是國民性の修養の上に於て深く考ふべき處なり。

△然れどもこれをば多少の但し書を要する理由もなきにあらず。其の一はこれなり、西洋人は愛の表出に長ず。日本人は此の點に於ては寧ろ控目なり。禽獸は人の面に表さざる愛まで察して之に感ずる力なければ自然愛の温りを感せざることもあらんか。之れは兎も角他の點につきては多少日本人の勝れる點もなきにあらず。西洋人は人の言はざる所言ひにくき所まで察して親切をかくることは存外に拙き所あり。淡泊に、悪く云へば押し强く同情を求むる人を喜ぶこと多し。長く外國にありし人或は外國人の立てたる學校にて教育を受けたる

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男女が日本人特有の性格の美を失ひ易きは此の爲なり。この點は强に西洋人に倣はずして奥床しき愛を望むべきなり。

△日本人は愛と義務を別にし易し、愛は義務以上のものなれば愛のある所には義務的のことより解除せられたる如く感ずこれ吾人の間に通有なる一大弱點なり。これがため折角の愛も破るゝ例少しとせず。希くは愛の增す處義務を果たするとも益々嚴正にしたきものなり。然れどもこの點は人に責むるよりも先づ己より始むることを勉むべし。細き事のやうなれど禮を云ふことゝ禮狀を書くことを怠るなどは有り勝ちの弊事にして之が爲め感情の圓滑を害すること多ければ、互に勉めたきものなり。金錢物品の貸借に於ても亦然り。たゞ日本人にはこの點に於て欠點ある人も他の事に於て立派なる心がけある人多きことを記憶しあまり酷に人を責めざるやうにすべし。又クリスチャンは鄭重の德に於て動もすれば缺くる處あり易し。世上の交際の形式的なる反動としてかくなり易し心すべきことなり。

△日常生活の愛につきても國民により大に性情を異にす。例へば佛國人は家具に金を費すこと少く、衣食を節して貯蓄するに反し、アングロサクリン人較日常生活をは愉快に趣味あるものとせんために家具裝飾には比較的多くの金を費すを辭せず。人を愛するも器物を愛するも心は乃ち一なりともに適度を得るを尙ぶ。奢侈贅澤は不可なり。然れども餘りに簡單生活の極に流れ無趣味殺風景なる生活をも厭はざるも亦不健全なるを免れず

講壇

死生論

綱島佳吉

（此は去る二月十一日青年會館にて綱島佳吉氏が說敎せられし大意を筆記したるなり。）

「吾が生ける、基督の爲め、また死ぬるも我が益なり。されど身體にあつて生けること若し吾が工の果を結ぶ根本となるべくは何れを撰ぶべきか、我これを知らず。我此の二つの間に介まれたり。我が願は世を遊りて基督と共に在んことなり。これ最も美事なり。然れど我が身體に居るは汝等の爲め更に必要なり」（腓一〇廿一―廿四）

日本人は昔から生くることよりも死ぬることにつきて注意した。如何なる時に死ぬべきか、如何にして死ぬべきか。此のやうな問題については中々覺悟して居たものである。殊に武士は其の覺悟を常に修業して居た。君の馬前に打死するか、または死すべきときに死せざるは死するに增る恥辱ありとかいふことは彼等の念頭を寸時も離れなかつた事である。然かし死に對する覺悟や工夫のある割合に、生くことの工夫が足らない傾きがある。如何に生活すべきか、有用なる生活は何なものであらうかといふやうな問題は餘り考へられて居らぬやうである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本の儒者なども死については立派な格言を遺して居るものが多いが、生くることになつては比較的に少ない。駿臺雜話を書いた室鳩巢の如きは、

「一日生くれば一日の道を盡して死せん。一月生くれば一月の道を盡して死せん。一年生くれば一年の道を盡して死せん。かくて朝に道を聞いて夕に死すとも可なり」。

といつて居る。道元禪師の曰く。

「生より死に遷ると心得るは是れ誤なり。生は一時の位にて、已に前あり後あり。故に佛法のうちには生即ち不生と云ふ。滅も一時の位にてまた前あり後あり。之によりて滅則ち不滅といふ。生といふときには生の外に物あり、死といふときには滅の外に物なし」と。

又曰く。

「生も一時の位なり。死も一時の位なり。例へは冬と春との如し。冬の春となるを思はず、春の夏となるを云はぬなり」と。

佐久間象山獄中に於て省諐錄なるものを著はした。其の中に曰く。

「假令今日死するも天下後世公論あるべし。我また何をか悔い。何をか憾みん」と。

彼また遙かに吉田松蔭に書を寄せて曰く。

「寄語我門同志士、勿因榮辱負素志」と。

松蔭之に和して曰く。

「已把死生付餘事、寧因榮辱負素志」と。

松蔭が高杉晉作に送つた書翰のうちに、

「死して不朽の見込あらば何時でも死ぬべし。生きて大業の見込あれば何時までも生くべし。僕の思ひにては生死は度外に置いて只云ふべきを云ふのみ」

との一節がある。彼が安政六年十月二十六日の辭世には、

「身はたとひ武藏の野邊に朽るとも留めおかまし大和魂」

とある。

僧月性、西鄕南洲と共に勤王の爲めに力を盡したが、事成らずして二人相携へて伏見より大阪に下つた。其の途すから南洲月性に謂つて曰く。

「萬一の時は死を決せよ」と。

月性言下に答へて、

「余の死生平常に於て已に定まれり。豈に已の窮地に臨みて死の決すべきものあらんや」

と答へた。而して二人遂に相擁して薩摩の海に身を投するに至つたとき、

「曇りなき心の月も薩摩潟沖の波間にやかて入りぬる」

「大君の爲には何どか惜ん薩摩の瀨戸に身は沈むとも」

との辭世を遺したとてある。

此等の辭を讀んで見ても、此の志士等が國を憂ひ、同胞を思ふ爲めに己が身を殺さんとするの覺悟は見事なものである。さて基督を信するものは此のやうな問題を如何に解するのであらうか。パウロの言は最も好く此の邊の消息を言ひ現はして居ると思はれる。曰く「我が願は世を逝りて基督と共に在

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

んこなり。是れ最も美事なり。然れども我が肉體に居るは汝等の爲め更に必要なり」と。基督者は死を恐れない。死は更に大なる靈の生命に入ることである。闥を排して一層美麗なる他の室に入るが如きものである。神の恩惠の座に出るのである。幻燈を見るとき、一の畫が消えたと思ふうちに、また他の畫が映される如く、此の世の生命が消えたと思ふ瞬間に他の世界の生命が現はれるのである。古來基督者は死を毫も恐れない。然かも武士や豪傑などが悟つたのとは違つた意味に於て此の嚴かなる事實を解決して居る。彼等は寧ろ之を喜んで居る次第である。一二の實例を擧ぐれば、

今から二十五六年前余が京都の同志社に居た頃、一人の商人を知つて居た。彼は肺患の爲めに死んだが病に罹つてから其の靈的生命は活潑になつた。病の重るとともに次第に靈化されたことである。余は時々彼を訪ふて相語らふたのであるが、實に愉快であつた。彼は妻子を遺して死ぬるのである。然るに彼は常に喜んで居た。若し詩が歌かを作ることが出來れば、此の胸中の喜悦を歌つて見たいと云つて居た。彼は勝利の最後を遂げた如くに見えた。或る日曜の夕余が彼を訪ふたとき、彼は余の手を握つて、祈り且つ感謝した。高い教育のあるものではない。天下の豪傑でもない。平凡な商人である。然るに尚ほ死の問題について十分なる解決を與へて居た。

昨年の秋、女子大學に學んで居た十八歳の少女が死んだ。曾て教を聞いたことがあるが、病に罹つてから一年間殊に深く之を研究し、靜岡縣の某地に轉地して居る頃餘程信仰が進んだ。其の家族の人々に送つた手紙などを見るに、國木田獨歩が「生も可なり、死も可なり、病は彼岸に達する努力なり」と云つた言が丁度自分の心持と符合するとか、或は神が近くに在すとか云ふことが書いてある。煩悶や苦痛の跡は見えない。此の少女は臨終の際に精神的に明くなつたところに出る心地がするといつた。祖父母は此の少女が信仰によりて病と戰ひ、また死をも恐れなかつたことを見て痛く感動し、近來基督の教に心を寄せて居らるゝことである。少女は實に信仰からして死より生に入つた。

余の教會（番町教會）に此程葬式があつた。四十三歳になる軍人である。立派な體格の人であつた。斯く俄かに死ぬるとは誰も考へなかつた。殊に妻もあり子もある身、死ぬることは望まなかつたであらう。然かし其の死する十五分前に余か彼を見舞ふて親しく其の信仰を聞いたとき、彼は神が共になることを信じて感謝して居つた。

斯の如く基督者に取りて死は死にあらずして生である。

然かしパウロは「我が願は世を去りて基督と共に在んことなり。去れど我が肉體に居るは汝等の爲めに更に必要なり」と云つて居る。基督者は死てふ問題について已に解決を與へて居る。そこで彼等は其の死に至るまで、此の世に於て如何に生活するかてふ問題を常に考へて居る。彼等の特に工夫を凝らすところは此の點である。問題は How to die? にあらずして、How to live? である。最も有益に生活するのが、基督教的生活である。死の工夫は已に出來て居る。故に此の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

短い生涯を最も立派に最も高貴に、また最も有益に送るには何うすれば好いであらう。此の一事を工夫し、覺悟してかゝれば、此勇氣渾身に滿ち亘つて人生の善き戰を戰ふことが出來る。また煩悶や不平などを起す餘地はない。神の恩寵に感激して人の爲め國の爲めに盡すことが、其の眞正の生命となる。

基督は曾て此世に於て飢しものを食せ、渇きしものに飲せ旅人を宿し、裸なるものに衣せ、痛めるものを見舞ひ、獄に在るものを慰めたものを以て、此は取りも直さず我に斯くなしたのであると譬諭を以て教へられたことがある。我輩は見ゆる人を愛し、之に事ふるのが、即ち見えざる神を愛し、之に事ふる譯になる。只抽象的にのみ神の事を思ふは誤りに陷り易い。神學者が或は正統不正統の議論をするけれど、要するに歸着するところは神を愛し、人を愛することに外ならぬビイチャルも曾て神學上の問題について熱火の如くに相爭ふ神學者も神の前に出ては互に手を握つて笑ふことであらうと云つたことがある。それで我等は最も有益に、又最も高貴に人生を送らうとするには、基督の心を以て人を愛することが肝要であると思ふ。

此程理學士荒川文六氏の母堂が死なれた。其の生涯は實に感服すべきものが多かつた。二十七歳のときに良人に別れられ、幼少な子女を女の手一つで養育せねばならぬこととなつた。而かも丁度其の當時姙娠中であつた。然かし已に基督教を信じて居られたので、此の非慘の境遇に於て失望することもなく、落膽することもなく、更に勇氣を奮ひ起して己が負擔せねばならぬ責任を躊躇せず一思ひに負擔せられた。己が家を他人に貸し、娘は奉公させそして先づ文六氏を教育することに努められた。同氏は高等學校から大學まで滯りなく修業し、殊に特待生となり、優等の成績を以て卒業されたことである。今日は米國に留學中であるが、氏は電氣學に最も精しく、我國に於ても其の方では人に知られて居る。且つ信仰篤く謙遜な人である。其のやうな人物は如何にして出來たのであらう。其の母親が其の子の爲めに祈られたことは普通大體ではなかつた。一生懸命に耳の遠くなるまで彼の爲めに己が骨身を碎かれたことである。神は斯の如き熱切なる祈りを聽かれぬであらうか。文六君は自らも今日あるを以て母の賜と信じて居られる。實に是れ神の祈りを聽きたまふものと云ふべきではないか。斯の如く弱い婦人でも一生懸命に奮發して事に當るときは、驚くべき結果を見ることとである。是れが取り直さず有益なる生活ではないか。

死生の問題は大切な問題である。死の解決をなして置くことは安心の基である。神が我を生かしたまふ間は己が前に置かれた事を熱心に遣る。パウロの云つた如く、我が生くるは人の爲め社會の爲めに更に必要なるものでなければならぬ。人は死に迫る場合には必ず過去を回顧して、あの時には斯うすれば良かつた得難き好機會を十分に用ふることをせなかつたと悔み、また自分は何れほど世の爲めに盡したであらう、社會の稗益となつたらうといふ問ひを起すに相違ない。其れ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が即ち信仰のあるか、無いかを定める標準である。形式的のことは何んにも役に立たぬ。基督者は人に事ふるのが本領である。朝から夕まで奉公人の如く考へて居れば、爭ふこともなく、恐ることもなからう。基督の心を以てすれば假令ひ椽の下の力持ちをしても滿足することが出來る。要は意味ある生涯を送るにある。

大隈伯は百二十五年が人間の眞正の壽命だと主張せられる長壽は眞に望ましいことであるが、假令百三十年若くは百五十年生き長へても若し其の生涯が無意味であつたなら何にもならぬではないか。意味のあるところが生命のあるところである。斯の如き活動は決して死するものでない。基督は我は途なり、眞なり．生命なりといはれた。彼の生命は復活の生命である。基督の如き意味深き、有益なる生活が何うして死滅するであらうか先年の戰ひの頃日本の兵士が眼を見開いて死んで居たものがあつたと聞く。其の態度から考ふれは勇ましく突進しつゝあつた間に、敵彈に當つて斃れたものらしい。死んで生きて居るのか、生きて死んで居るのか解らない有樣であつたといふ。活動に死はない。基督敎の生活もまだ斯の如きものである。願くは我等をして死に對する立派なる覺悟を懷くと共に更に有益なる生活をなすの工夫を凝さしめよ。

信仰の復活

先頃大阪に開かれたる宣敎師の集會にてデビス博士の述べられたるリバイバルに關する演說は、今日の基督敎に取りて甚だ有益なるものなり。此程福音新報に掲げられたるうちより一二節を抄錄すべし。

基督者當然の情態は聖靈に充され、之によりて基督と結合すること密接にして、其生命、愛、及び歡喜己れに充ち、自から溢れて周圍にある人の心と生命とに波及するほどにてあるべきことなり。基督を信じて其の與ふる活ける水を掬するもののうちより、生命の流れ河の如くなるべし。即ち是れ敎會及び基督信徒の正則情態なれど、敎會は動もすれば屢ば冷かになり、形式に陷り、世俗的に流れ、甚だ精神的ならざる情態に沈む。個人の信仰また然り。故に敎會は屢は覺醒して其の正則に反へるの必要あり。

聖靈の現在と作用とを信じ聖靈によりて基督者と密接なる結合をなし、彼のうちに作用き、其のうちに充ちて之を其の事業の爲めに用ふべき神的にして活ける基督を信ぜざる可らず。余は未だユニテリアン敎會に靈的覺醒(リバイバル)の起りし事實あるを知らず、また讀みしこともなし。

主に祈りて之を求むべし。ペンテコストも祈りの結果なり何れの時代に於ける靈的覺醒も協同一致の祈りに原因す。かの有名なるフヒニイは聖靈の力を受けて五十萬に下らざる人

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を悔改に導きたりと稱せらる。彼は多くの時を祈禱に費したり。彼の傳道するや、其の準備として祈禱をなさしむる爲めに、篤信なるナッシと云へる人を先發せしむるを常例とせり。ムウディも之と同じく其の到る所先づ各教會が祈りを以て準備すべきことを要求したり。

斯の如き祈禱の有効ならんことを望まば、基督者の祈りは實に世界を動す所の臂なりと確信すること肝要なり。吾人は祈るときに神の現在したまふことを明かに知覺し、之と面を合せて我等のうちに祈るところの聖靈によりて祈ること肝要なり。是れ總て成功ある祈りの秘訣なり。馬太傳第十八章を見るに耶蘇門徒に告げて曰く「凡そ汝らが地に於て繫ぐことは天に於ても繫ぎ、汝らが地に於て解くことは天に於ても解くべし」。又曰く「我また汝らに告げん、若し汝らのうち二人のもの地に於て心を合せ何事にても求めば、天に在す我が父は彼らの爲めに之を爲したまふべし」。又曰く「我が名の爲めに二三人の集る處には我も其のうちにあり」と。基督に連り實に其の御名のうちに於けるもの聖靈に於て、即ち斯るが故に神の意志に協ひて、祈らば必ず其の求むる所のものを得べし。約翰傳第十五章七節に基督の約束あり。曰く「汝ら若し我に居り、我が云ひしこと汝らに居らば、すべて欲する所求めに從ひて與へらるべし」羅馬書第八章二十六節に曰く「聖靈もまた我等の弱きを助く、我等は祈るべき所を知らざれど聖靈自は云ひ難きの嘆きを以て我等の爲めに祈りぬ」と。斯の如く心を活ける基督に結び付け、聖靈に於て祈らば、其の有効ならんこと疑ふ可らざるなり。

祈りは痛切なるを要す。使徒ヤコブの殺され、ペテロの執へられて獄に投ぜらるゝや、「教會は之が爲に只管神に祈る」と記されたり。只管と譯されたるギリシャ語は競走者が號令を待つて馳せ出ださんと身構へ、片足を翹て、前足を踏み張りて、渾身の氣を此所に集注せる樣を形容するの語なり。路加傳第二十二章四十四節に見ゆるゲッセマネ園內、耶蘇の祈りもまた熱切なりし點に於ては其の趣き相似たり。曰く「耶蘇痛く悲しみ、頻りに祈れり。其の汗は血の滴りの如く地に落ちたり」と。

我等若し聖靈を心に受け容れんと欲せば、此の祝福の疾くに我等を待ちつゝありてふ事を記憶せざる可からず。聖靈の臨まざるにあらず。我等が心を開き、熱切なる精神を以て之を求めざるのみ。曾て海に漂ふ船あり。水盡きしかば、舟中皆な渴きて死せんとす。忽ち遙かに一隻の船を認め、暗號を以て助けを求むること急なり。かの船より送れる答への暗號に曰く「汲みて飲め。諸君は今大アメイゾン河の口にあるなり」と。我等もまた斯の如く身は已に靈的祝福の大海にあり。問題は神果して之を與へらるべきや否やにあらず。我等が此の心を開きて受けんと欲するや否やが問題なり。之を受くるに適はしき心を得んと欲して祈らざる可らず。必要を感ずること未だ切ならずんば、之を感ずるに至らんことを祈るべし。信仰弱からば現に手にあるものを活用し、曾て其子の癒されんことを願ひて之を耶蘇のもとに携へ至れる父の如く嘆き訴

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

へよ。曰く「主よ我れ信ず、我が信なきを助けたまへ」と。必要を感ずること切にして、只管に一致して祈らば靈的の力を與へられ、未だ此の祝福を得ざるもの、為めに祈りもし、其勞をも執るに至ることを得るべし。教會期の如く活動して其の會員聖靈に滿たされ、愛と祈りとに溢れて、他の靈魂の為めに勞することをせば、基督を信ずるもの日に多きを加へんとす。若し教會に悔い改むるもの少なく、新加入者多からずんば、其の教會が冷淡にして復活の必要あるを證するに足れり。

各自熱切に個人の為めに祈り且つ勞作かざる可らず。教會員多數が聖靈に滿たされて個人の為めに祈り且つ勞作くことを怠らずんば、悔い改むるもの續出すべし。此の個人的事業は傳道進歩の秘訣なり。

聖靈に滿さるゝとは何ぞや

「聖靈に滿さるゝ」を云ふことは、人間普通の經驗に有り觸れたる事柄なり、例へは孝子とは親と其の恩愛とに滿されたるを云ふ。其の心を良人に滿されて日暮之を忘れず、誠を盡して忠實に事ふるを貞女烈婦といふなり。人、人に滿たされて感すべき行動に出づることあらば、何故に人、神に滿たされて其れより以上のインスピレエションを受け、力を賜りて、其の平生に幾倍し、否な全く之に超越する程度にまで引き上げらるゝことなからんや。

（福音新報社説の第一節）

史傳

ヘレンケラー孃

第十九世紀に於ける最も興味ある二個の人物はナポレヲンとヘレン、ケラーなりとは多くの人々の思ふ所である、今度は同孃は第二の著書を世に公けにしたり「我が住む世界」と云ふ誠に趣味津々たるもの何れ此の明治の女子紙上に其の幾分にても紹介するであらふが今一言此の書の內容を云へば盲目であり、啞である彼が如何にして世界を見るかを說明するものにして我等に取ては驚くべき力が觸感即ち手及び指等にあるかを悟らしめ、又孃の心の如何に慧敏にして大なる不具者でありながら實に完全者に勝れる智識、才能を有するかを驚嘆せしむるものである、今此新著の紹介に先ちて少しく孃のことを讀者に告ぐるは決して無益のことなしと信ずれば左に一二言を費して告ぐることにしやふ。ヘレン、ケラーは亞米利加の一女子にして現今は二十八歲で、孃は二歲の時に盲と啞とになつたのである、然るにも拘はらず孃は今はロッドクリフ大學の卒業生であり又講演者と著書家である。彼の第一著「自個の生涯」の中に如何にして彼れが敎育せられたかを告げ、然も之を完ふするには彼れが如何に苦心精勵せしかを陳へ、之を通讀する者をして彼れに大なる同情を抱き、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

彼れに對する種々なる想像を起さしめ、又勇氣を鼓し、功名心を以て彼れの爲めに盡さしめんとの思ひを奮ひ起さしむ。

彼の女の教師はアンネ、シュリラン孃にして彼れ自らも幼にして盲となりしが後ち少しく見ゆることを得るに至れり、而して彼れは暫らく盲學校に在りし爲めケラーの教育に從ふには特に適當なることを得たのである、ケラーの教育は彼れが七歳の時に初まれり、此時迄は何人も彼れを教へんと試みしものなかりければ、彼れは最も無作法なる記號を以てする外に外界と交通するの手段を知らなかつたのである、然しながら彼は壯健にして至極活潑なる小兒にして且つ彼の鋭き心と強き精神とは絶へず、身體の牢屋を破つて外界に觸れんと勉めたり、斯の如き熱心なる希望が永く滿されざる爲めに常に絶へず心經の昂進を生じ、感情の強き見はれを來たしつゝあつた、此時に當り彼れ家族は彼れに對しては何事もなし得ずして只彼れの希望に慰めを與へ彼の心を靜かにして彼れを幸ひならしめんことを望みたりき、丁度此時にシュリラン孃は來りしなり、ケラー自傳に於て如何にシュリラン孃が此の恐るべき少女の信任、從順、敬愛を得たるかを示せり、而して如何に彼れが少女の可愛ゆき小き掌に一字を記して漸々彼を教へしかを學ぶは實に趣味深きことなりとす。

ケラーが學びし最初の一字は Doll 人形にてありし、此語は彼れが新らしき人形を其手に持ちし時に教師が其の掌上に綴りて示せしなり、忽ち彼れは總てのものは皆斯の如き名を有することを實驗せり、又彼れ一日或る物に就て考へつゝありし時に教師が彼れの額に think 考へるの字を綴りし時に彼れの抽象的觀念の自覺は初めて彼れの心に輝くことを得たり、彼れは先づ指にて字を綴ることを學び次に凸字の書物に依つて讀むことを得たりしなり、彼れは十歳の時初めて會話の稽古をなせり、教師が發音する時に彼は其の手を輕く教師の顏の上に措きて舌と唇の位置を悟ることを勸め以て發音の稽古をなせり。

彼れ自傳中に彼れは又彼の大學に入る準備及び入學後の勉學に就て記せり、總て此等の奮鬪の年月の中シュリラン孃は常に彼れを教導せり學校に在つては彼れはケラーと教師の間に立つて通譯者となり、彼れの掌上に講演を記し、黒板に記されたる説明を解決し、彼れの爲めに書物を讀み聞かせたり此の極めて親切なる教師なければ彼れは確かに外界を知る能はざりしならん。

ケラは啻に盲目者たるのみならず、啞者たりしなり、然も彼れは語ることを教へられ、教育を受くるに至れり、去れども世に彼れの如く發育進歩せしものに非らざるなり、彼れの奮鬪せし仕方と其の發展せし品性とには特別なる趣味の存する在るを知るなり、チャレス、ドットレー、ネヤンス彼れに就て云ひけるは「余は信ず彼の女は現在せし人類の最も淸き人なり」と故に彼れの著書を通じて斯の如き驚くべき生涯の與ふる鼓吹を得るは誠に欣ぶべきことなりとす。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

亞弗利加の父リビングストン（一）

人を益し、人に與ふるの最も大ひなるもの、最も貴きものは人をして活ける理想を懐かしむるに在り、人をして奮發興起爲すあらんとの希望を抱かしむるに在り、金錢を與ふるは或る場合に於ては誠に必要なりと雖、自ら勵みて財寶を得べき志を起さしむるは之を與ふるに勝れり、智識を與ふるは可なり、自ら勉めて智識を研くべき望を抱かしむるは之れを與ふるに勝れり、土中に播れたる種が日光を得て芽を出し、幹を生じ、葉を繁らすを見るは、如何に愉快なることならずや、貧困なる少年が有爲の志を堪へて王公將相と雖、決して生れ付きのものに非らず、我れも奮發すれば必ず富貴高名の人たるを得んと勤むるを知るは如何に快心の至ならずや。

夫れかくの如く青年に於て最も渇望すべきは立志在り、奮發に在り若し志なく、奮發なくんば、金錢を得るも寧ろ其品性を墮落せしむる器械とならずんばあらず、又智識を研くも寧ろ無用の長物として自他を益するながらんとす、之れに反して青年にして有爲の精神を振作して起つ時は貧困何にかあらんや、高上の志氣に動かされて進むには耐久の心壯んにして大成することを得ん。

然り而して吾人が斯の如き大目的を達し得るの道は我等が貴き人物に接し之と交はるに在りとす、余は此夏二ヶ所の講習會に臨めり、而して其講演に依つて得るところ多かりき、然も其の最も余を益し今も尚余を勵ましつゝあるものは余等の先輩にして講師の一人が精勵、奮發、讀書と考究の爲めに最も早く床を出て暑氣に屈せず、蚊を追ひつゝ夜遲くまで日を費やし僅かに四五日の滯在に拘はらず、三冊の書を讀破したる實行に在りとす、茲に於て乎、今更の如くに實行の功力の大なるに自ら驚嘆したりき。

此の理由を以て余は茲にアフリカの父と稱せられ、大探險家とし、大測量家とし、大慈善家とし、大宣教師として名高きリビングストンを紹介し諸君と共に、此大實行家より大に學ぶ所あらんとす。

吾人が人物を研究するに當り、注意すべきは左の三點なりとす。

一、彼れは何事を成就せしや
二、彼の人格は如何なるものなるや
三、彼を鼓吹せる動機は何なるや

茲に右の三ヶ條に從ひ順を追ふて學ぶ所あらんとす。

一、何事を成就せしや

諸君が地圖を披き亞弗利加を見ば其形の髑髏の東面せるが如くにして其廣袤は我國の八十倍にして赤道を挾んで南北六十度、東西四十度に亘れる大陸たるを知らん、此大陸は海岸一帶平均百哩内外の平地を越ゆれば山脉連り重さなりて自ら外界との交通を絶ち内にはサハラ、カラハリーの大砂漠ありて其際涯を知る能はず、大河多くあれども急流にして舟行に適せず　アレサンドリヤ、ケープクウンの如き皆良好の碇泊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

所に非らず、氣候は險惡にして惡疫流行し、猛獸、毒蟲多くして普通人間の居住に適せず、然れども此土には無數の人類あり、無盡藏の產物あり、而して此人民は奴隷となつて白人種の爲めに器の如く、獸の如く取扱はれて悲慘の有樣なれば若し其儘にして置かれんか吾人は其の何の爲めに亞弗利加の存在するや、又何故に其中に在る寳貨と人類を長く暗黑中に葬むる所以を解する能はざりき。

然り而して神は玆に一偉人を起して此亞弗利加を開き其人類に幸福を享くると他の人類と同しからんとを欲せしめたり此の難き事業を成就すべき使命を帶びたる人は決して金殿玉樓に生れ、錦衣飽食したる人に非らざりき、玆に我等の記憶すべきは歷史上の光明となりつゝある人物の多くは實に貧困の家は生長したることとなり、太閤秀吉の一草履取りより身を起したる米國大統領ガルフヒルドの貧家に育ちたる宗敎改革家ルーテルの礦夫の伏屋に生れたる其著しき例なり、而してリビングストンは工場の小職人として育ち父は茶の行商にして、祖父は綿製造所の書記たりしなり、「貧苦は最善の大學校なり」とは實に實地のことにして米國の豪富カルネギーの如きは自身の最も愉快なる記憶は貧困の中に生長せしと云ふことなりと云へり、以て大に我等の志を勵ますに足る、さてリビングストンの亞弗利加に於ける活動を分ちて三期となすを得べし。

第一期は千八百四十年より同五十六年まで十六ケ年間宣敎師として其任務を盡したることにして此間の活動は最も英人及び歐米の人を驚かしたるものにして彼は妻子を英國に送りし後深く內に入り遂にロヲンダに達して西海岸に出て更に引返へして遂に大陸を橫斷してクヰルマネに出てたり。第二期は英國政府より領事として六ケ年間探見に從事したることにして此度は一方に於てはザムベン河を沿ふて深く進み入り又一方には北方ニアワサ湖を渡り不毛未開の地を探見したることとなり、此旅行にて彼の良妻メリーは永眠せり。

第三期は最後の旅行にしてザムベジー河に行を起して其北方に向ひ、「ニアワサ」「タンガ」ニカ其他の湖水を探見して大陸中央の地の東部を跋涉し遂に身弱り力盡て天上に移されたり。

以上三回の爲めに費やしたる年月實に三十ケ年此間の困難と辛苦とは固より言語文章を以て盡くすべからざるものにして到底尋常一樣の身體と決心とには堪ゆべからざるものなり露營しては毒虫に刺され、穴居しては病に犯され、時に濕りたる草を枕とし時に木の根を食ひ、一たびは獅に嚙まれ熱病に罹ること二十數回肉衰へ骨立ち、死に瀕すること屢なり、第一回の探見の初めに當り妻子を共に在りしが、小兒は其の見はれたる所を少しも殘さずして刺され、產れて程なき赤兒は熱病の爲めに死し而して或時は四日間も、一滴の飲水を得ざるゝも其他猛惡なる土人の爲めに殺害せられんこと數回ならざりき更に偉人の心を最も悲ましめ、望を失はしめたるものは彼れが必ず在りと信じて到着せし地に故國の妻子、友人より書面の來り居らざりしことにて而して最大の慘事は彼れが其愛妻メリー永訣せしことなりき。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

文苑

生命の鍵

志良爲生

前の土曜日の朝、私の最も親しく交際して居る友人が大學病院から手紙を寄せて、是非逢つて話したいことがあるから來て呉れと云つて來た。其の友人は癌を患つて昨今は餘程危險い兆候が見えると醫者も非常に心配して居るのである。何か變事でも起つたのではなからうかと氣になつて仕方がなかつたけれど、折惡しく其の日は手の離せない用事があつたので正午頃まで會社に出て、用事が片付くと直ぐ何も彼も打ち遣つて置いて驅け付けて見た。

病室に這入ると、血の氣のない廣い額、削いだやうに肉の落ちた頰、白く高い鼻、見るからに心細い。然かし彼は病に臥してから精神は一層活潑になり、宗教的信念は益す深い所に透徹したやうに思はれた、其の語ること、考ふることが次第に俗臭を脫して、其の心の持ち工合が實に氣高くなつた。其の傍に行くと古への聖徒の前にでも出たやうな心地がして或るときは神々しく思はれた。殊に其の日は深く落ち込んだ目が妙に輝いて、恍惚として何者かを見て居るやうで、其の唇は紅は褪せて了つたて居るが微かに笑を含み、心の中には禁め難い希望と喜悅とが滿ちて居るやうであつた。

枕邊には渠が平生何等かの深い懷しい意味で好んで居たと思はるゝジレニアムの花が新しく插し替へられて、何となく室內の空氣が聖別されて居るやうに感ぜられた。私は毎時のやうに平氣に友人の傍に近寄ることが出來難い思ひがしたので、暫らく入口方に立つて居た。

すると友人は靜かに私の方へ向き直り、毎時するやうに目尻のところに三つ四つ皺を寄せ、につこりして、

「待つて居たよ。さあ掛けたまへ。」

と隱かに云ふ。

「御手紙だつたからね、直ぐ來たいと思つたけれど、相憎く今まで手の引けない仕事があつたものだからね、つい失敬した。何か變つたことでもありはしまいかと思つて、氣が氣ぢやなかつたが、まあ安心したよ。さて其の話したいと云ふことは何だね。」

「其んなにまで心配させて濟まなかつた。其れほど急なことでもなかつたのだがね、僕も君と別れなければならない日が次第に迫つて來るやうに感ずるからね、是非君にだけ話して置きたいと思つたのさ。」

「何をだよ。まあ其んなに心細いことを云つてくれるな。遺言でもするといふのか。」

「ハヽ……僕は君の知つてるやうな生涯ぢやないか。何の遺言の必要があると思ふかね。處分して貰はねばならない財產があるぢやなし、始末して置かねばならない妻子があるぢやなし、此の世に對する執着の念は更に無いよ。死後の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ことは一切君の親切に委せてをるから、何等の心殘りもないよ。」

「其れぢや何の話だね。」

「まあ然う焦慮りたまふな。」

丁度其處へ附添の看護婦が來たので、友人は之を呼んで紅茶を入れるやうに命じた。自身は湯を貰つてちよつと唇を濕ほし、さて云ふやう。

「君は常に僕の生涯の裏に何か僕を操つて居るものがあるたらうつて疑つて居たね。」

「然うだ、常に其の秘密を知りたいと思ふけれど、君は唯だ笑ふのみで、更に要領を得なかつた。」

友人は穩かに、否な寧ろ神々しく笑つて、良久し默つて何にも云はなかつた。

其のうちに看護婦が出て行つて、また二人きりになつた。友人は枕の下から西洋風の狀袋に入れたものを取り出して徐ろに私の手に握らせ、

「是れはね僕の生命の鍵だ」と靜かに而かも力ある聲で云つた。尙ほ言を次ぎ「僕は此の二三日來頻りに此のことが思ひ出されて仕方がないのさ。僕今夜にも此の秘密のうちに這入るやうになりはせんかと思ふよ。其れを思ふて來ると何だか身內が戰ふて、云ふ可らざる慰安と喜悅とが胸に躍るやうになる」といふ。

友人の面は聖く輝く。

「其れは何うぞ僕が此の世を去つてから後で披いて見てくれたまへ。」

* * * * *

友人は大學に居た頃からの知り合ひで、彼は文科、私は法科、志すところは異つて居たけれど、同教會の緣故で遂には兄弟も啻ならぬ間となつたのである。彼は幼にして兩親に別れ、孤兒の淋しみは常に其の心に懸つて居た。學資には有り餘るほどの父の遺產があつたので、卒業後直ぐ獨逸から英國の方に六年ばかり留學し、專ら心理學を硏究した。歸朝後は或る高等學校に敎へて居た。後ち某大學の敎授となつた。非常な勉强家で、學問に對しては如何なる努力をも惜まなかつた。著書も二三冊あつて皆な評判が好い。收入の大半は他人の爲めに使つて了うて自分のことは一向構はぬ。私の目には常に彼は何者かに刺激せられて居るやうに見えた。同情の厚い、温く優しい性質であるから、同僚にも學生にも愛せられて居た。然かし何う勸めても彼は妻を娶らうと云はず、口癖のやうに「まだ早い」と云つて居た。

私はかの秘密を包んだものを受取つて晩餐の頃機嫌よく別れて家に歸つた。急に變事はなからうと思つて休みかけると、夜の十二時頃危篤との報知があつたので、私はすぐ馳け付けた。然かし已に遲つた。

私は謂知れぬ感想を胸に漲らせつゝ、其の骸の傍に通夜した私の頭腦の中には彼の生涯が走馬燈の如くに往來する。ふとかの秘密の鍵が披いて見たくなつた。

何か恐しいものでも見るやうにそつと封を切つて見ると、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

綺麗な洋紙に三四枚ばかり何か書いてある。私は胸を躍らせながら讀みかけた。

「敏子さんは死んだ。

其の書籍も机も舊時の儘にしてある。机の上には一輪挿にジレニアムの花が挿してある。其の花もまた後を追ふやうに枯れかけて居る。閉めた窓の隙間から二すぢの光線が射し込んで居る。

敏子さんは今年十五である。蕾の花が散つたのである。恐らく其の頭裡に私の名は深く印せられて居なかつたかも知れぬ。まだ戀を知る時でなかつた。其の上彼の生涯は希望と理想とに滿たされて居た。爲さねばならぬ責任に驅られて、思ひ煩ふ隙がなかつた。あゝ、彼は靜かに且つ活動して居た。神の御手が不意に抱き取りたまふまでは、何も知らなかつたのである。今は只だ其の美しく白き額に名殘を留めるのみとなつた。

敏子さん。もう取り返しは着かないであらうか。齋潔く且つ眞實であつた汝の靈魂には、何ものが觸れて居たであらう。汝の美しい二つの望遠鏡に映つた星は何んな星であつたらう。私と汝とは齡が餘りに懸け離れて居る。それ故人生の行路を二人一緒に行くことはとても出來ないであらうか。私の望は遂げられぬ望であつたらうか。私は此の事を汝に告げずに居られない。最早之を告げる機會さへなくなつたのであらうか。人の生命は斯ばかり果敢ないものであらうか。

否な神は創造する能力を有せらるゝと同時に、恩賜を與へらるゝ大なる天の父である。神は愛に酬ゆるやうに愛を造られた。故に私は今も尙ほ私の愛の熱情の故を以て汝の愛を要求する。然かし私は是から後ち幾年か此の世の旅路を辿らねばならない。直ぐに汝の後を追ふて行くことは出來ぬ。あゝ私が汝の手を取り得るに至るまでには、多くの學ぶべきことと多くの忘るべきことがある。

然かし屹度時が來るでせう。來るに相違ない。汝の淸く美しい容姿と靈魂とが地上に於て私に何のやうな心持を起さたでせう。汝の黑い頭髮、ジレニアムのやうに紅な唇!!。汝は何にも知らなかつたであらうが、私の心は汝を見る每に千々に碎かれて居た　其の私の心持が汝によく解る時が何時か必ず來るであらうと信じて居る。古い舊の姿に代る新しく更にく氣高い生活に於て汝はまた私の心を惹き着ける時があるに相違ない。

私は孤兒である。溫い愛情を味つたことの無いものである。努力!。奮鬪!。精力の有りたけを注いで活動くことが私の生命であつた。然かし私の心の奧には何とも名狀することの出來ない淋しさがあつた。私は之を滿足させたいと色々の手段を講じて見たが凡て駄目であつた。敏子さん、私は汝に逢つて始めて人の情の溫かみが私の心の奧に徹した。此の心持は何を意味するのでせう。私は汝と一緒に此の意味を理會したいと思ふ。

敏子さん。私は汝に逢つて以來、常に汝を慕つて居た。私の心は張り裂けるほどに此の思ひで一杯になつて居た。私の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

胸には汝の無邪氣な若い微笑と、燃ゆるやうな紅の柔い唇と總々した癖のない綺麗な艶の黑髮を大事に保存して居る。あゝ敏子さん、私は此のジレニアムの一葉を汝に與る。私は綺麗な冷い敏子さんの手のうちに之を握らせた。是れは私どもの間の秘密である。眠れ！。やがて汝は目が醒めてあらう。然うして昔を想ひ出して屹度此の秘密を理會するに至るであらう。」

終りに「〇〇年〇月〇日、敏子の死の枕邊に於て」と書いてある。私は讀み了つて無限の感慨に堪へなかつた。友人の生命の鍵は實に此の可憐の少女の手に握られて居たことを知つた。彼もまた今此の希望を追ふて遂に死んだ。まだ早いと常に云つて居た結婚の時を報せる鐘は何時聞えるであらう。

（をはり）

もしほ草

志高き婦人

「わづらはしき世をしばしのがれ、たそがれ靜にひとりいのらん」といふ讚美歌第二百四十一は、今から五十年前我國に傳道の爲め始めて渡來せる宣教師の一人、サムエル・ロビンス・ブラウン博士の母フヰ・ベ・ブラウン女史の作られたものである。此は米國コンネクチカッ洲のイルリングトンに住んで居られたときの作で、女史は毎夕靜かな森のうちを獨りで散歩せられた。すると妙な噂さをするものがあつたとかで女史其の靜かな黄昏を神と共に語るのだといふ意味を歌つて其の町の新聞に寄せられたものだと聞いて居る。其の第二節に（日本譯にはない）幼兒や様々の思煩により云々の句がある。此の幼子とあるは博士ブラウンのことてある。此の歌は博士ブラウンが自ら作曲した"monson"といふ譜で久しい間歌はれて居た。日本語の讚美歌には其の譜は見えない。

此のヒヰベ・ブラウン女史に就いては實に多くの學ぶべき教訓がある。其の一つを記せば、女史は貧しい家に生れ、教育を受ける餘裕がなかつた。それで十八歳の時初めてＡＢＣを書き習はれた。其の頃女史は或る家に奉公して居られたので書物やペンなどを買ふことは中々出來ない。故に裏の山の紅葉の樹の液汁でインキを製し、市場で鳥の羽を拾つて來て

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ペンを造り、それで以て隙ある每に習字をして居られた。夜間蠟燭を照らし僅少の時間を活用して獨學せられたこともある。然かし女史は天稟の才のあつた人であるから、後ちには立派な文章を書いて新聞紙や雜誌などに投書するやうになられた。前に云へる讃美歌を始め、女史の手に成つた歌は少なくないことである。又其の子の博士ブラウンが日本に居らるゝ頃も、誕生日每には必ず詩を作つて送られるのが例であつた。實に女史は立志篇の中に書き加へらるべき女丈夫であるまた今日の年若き女子に取りても、志を勵まし精神を奮ひ立たしむるものがある。我々は何うも境遇を咀つたり、周圍の事情を憾んだりすることが多い。然かし志さへあれば爲し遂げられない事はない。志のない人間は如何なる幸福な境遇に居ても之を無意味に打ち毀して了うではないか。

女史また常に其の子を戒めて曰く、

『感恩の念もて報ひられなんことを期待して善を行ふと勿れ。感恩の念は齋潔き心の温室にのみ培養せらるゝ外國の植物の如し。汝の周圍の世界の冷く荒れ果てし地味に成長することは甚だ稀なり。善其のものゝ爲めに之を行へ。然らば汝は其の報を失ふことなからん。』

此は博士ブラウンの生涯に最も深き感化を與へた訓であつたといふ。今日は利己主義の跋扈して居る時代である。餘りに利害の觀念が強くなつた。何事を爲すにも其の利害を計算することが先に立つて、其の善惡を調査することは二の次ぎになり易い。此の教訓は我等にもまた適切である。

本分に從へ

或る日亞米利加印度人が不思議なる幻象を見たといふ話がある。其れは〝G.P.C.〟の三字が示めされたのである。

或る人これは〝Go preach Christ〟（行きて基督を宣へよ）の意味だと解釋した。

ところが他のものは解釋を異にして曰く『否な、其の意味は然うではなからう、屹度〝Go Pick Cotton〟（行きて綿花を摘め）の意だらう』と。

可笑しい話であるが、此所に學ぶべき大なる眞理がある。人は各々其の本分を異にして居る。G.P.C を行きて基督を宣へよと解する位置に居るものは、行きて基督を宣ぶべきである。又之を行きて綿花を摘めと解すべき境遇のものは、行きて綿花を摘まねばならぬ。人は其の置かれたところに滿足して、忠實に其の本分を盡すことが肝要である。

滿足するといつても固定して了つて、十年一日の如く沈滯し、何等の進境も見ぬといふやうな滿足の仕方ではない。活ける滿足である。死んだ滿足ではない。活動するものは必ず進歩する。然かしまた藻掻き焦慮ることを活動と考へてはならぬ。己が分に安んずることを知らず、濫りに不平を鳴らし落ち付きのないものは、決して眞實の進歩もなく、活動も出來ない。

詮するところ我等は只だ主耶蘇が爲すべく我等に望まるゝことのベストを盡して爲すの外ないのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

落葉籠

▲●●●●●●●氣轉も資本の一つ　十八歳のとき士族の家から昔風の商家に嫁したといふ人の話に曰く『いつもの通りお店に坐つてをりますと、お客樣が瓶を持つてお酒を買ひにいらつしやいました。小僧は瓶を受取つてお酒を量つてをりましたが、どう間違つたのか、代價の倍ぐらゐも注いでをります。それを番頭が見て、

「小僧や、なるたけおまけ申して、量をよくして上げなよ」

と、帳場から聲をかけました。あんなに餘計はかり込んでゐるのに妙なことをいふものだと、私は心の中に思つてをりました。

お客樣は量をよくして貰つて、喜んで歸つて行かれましたが、その後で番頭は小僧に向つて、

「なぜあんな暴亂な量をするか」

と、小言をいひました。さつき番頭がお客樣の前で、「量をよくしてお上げ」といつたのは、お客樣の氣を惡くしないやうに、小僧に注意したのです。姑は、氣轉も資本の一つだといはれたが、なるほどと思つて、私はつくづく姑の言葉に感心しました。

▲●●●●音樂と色　外松夫人の話にミセス、パントといふ人が音樂と色とを比較して解り易く初心のものに音樂を呑み込ませたと云ふ一節を見た。曰く『音樂を子供にも、聽き慣れない人にも解る樣に敎へる方法を發明された。其方法は音譜をいろくの色で表はすのです。例へばドの音は強い音色なので黄であらはし、ソは輝いた音色なので赤で表はすとか、ファーは弱い音色であるか水色であらはすとかいふ風にするのです。これならば子供でも、音樂の耳の無い人にも出來る筈です。西洋音樂にはまだ一般に趣味の薄い我が國にはこの方法等が最も必要と存ぜられます。』

▲害蟲の損害一年壹億五千萬圓　昆蟲學者名和靖氏の說に據れば、蠶、テグス、フシ、蜂蜜等利益を與ふる昆蟲も多いけれど、其の害を及ぼす方面から見れば驚くべきものがある。即ち二化性螟蟲丈の稻作に及ぼす害が年々四千萬圓と計上せられて居るが、然かしこれは米價石十圓と見積りての計算であるから、現在の時價より打算せば六千萬圓を下らないのである。之は年々の平均を見積つたのであるから大した被害で十箇年積れば六億圓、即ち一箇年の我國費を支ふるに足るといふ始末。これが螟蟲一種だけの被害なるを思へば實に驚かざるを得ない。又浮塵子の爲めに被つた明治三十年の害は七千五百萬圓、これも現在の時價に見積れば一億一千二百五十萬圓に當る。其の他稻作害蟲には螟蛉あり苞蟲あり、稻蚤、椿象、葉蟲、象鼻蟲、其の他數へ擧ぐればまた色々ある。又桑樹の害蟲、蔬菜の害蟲、果樹害蟲、或は各地の特別農產物にも夫々幾多の害蟲がある。かゝるものゝ被害を合算すれば一箇年平均一億圓と計上せられて居る。これも矢張り米價石十圓時代の計算であるから、只今では一億五千萬圓と見積つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た方が至當であらうと思ふ。

▲天才は末子に多し　世界古來の詩人、創作家、畫家、さては音樂者等有名なる男女の傳記を研究したところが、其の中長男として生れた人は七十四人中只た十人だけであつた。之に反して天才と云はれた人々は末子が多い。詩人コルリッヂは十三人の兒の末子である。クウパアは十二人中の十一人目に生れ、名優アルビングは十一兒の末子、小說家バルザックは三兒の末子、ジョル●ジエリオットは四人の末子、ナポレオンは八人目。ウエブスタアは七人目で末子、フランクリンは十七人目の末子、リチャード●ワグネルは七人目の末子。數へて來れば實例は限りない。つまり世間の父母は多くの場合に於て最も年齡の熟した頃に天才を産むらしい。

海外たより

◉米國に於ける青年會及其事業　昨一九〇八年に於ける青年會の現在數は千九百三十九個にして二千五百四十四人の主事及び副主事之れに從事し會員數は四十五萬六千人に達し其内六萬人は青年會委員となつて其事業を助くるものなりと云ふ新たに建築されたる會館の數は八十四個其費用は無量一千萬弗に上り猶も九百萬弗の豫算にて八十個の會館は設計又は建設中にありと。

彼の合衆國政府の大事業たるパナマ運河開通地には政府の手によりて新たに四個の會館設立せられたるが其經營に就ての一切を青年會に依托せりと、又多くの大學に於ては青年會の聖書研究に出席する者常に數千人に上り學生青年會の數は七百六十三個にして五萬九千人の會員を有すと云ふ。

事業としては現に青年會寄宿舍には一萬九千の青年を寄宿せしめ、善良なる下宿の紹介を受けたるものは四萬人以上にして職業周旋を得たる者は非常に多く其俸給は優に千六百萬弗に上ると云ふ、又昨年諸鐵道會社が其青年の爲に支出したる金高は三十八萬五千弗にして其數二百四十二個となれりと。

◉フイシャル孃の日本に關する演說　十二月九日紐育市グールド孃の宅に於て女子青年會の外國傳道部の大集會開かれたりき、會長は全世界に設立されたる青年會に依り一大姉妹同盟の結ばれつゝあることを感謝すと云ひ外國傳道部長グラッ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

デン夫人を紹介せしが同夫人は更に當日の演說者たる印度の淑女シング孃及び近頃迄日本婦人靑年會の副幹事たりしフイシャル孃を紹介せり依つて先づシング孃は立つて印度婦人に關し最も有益にして且有力なる演說をなせり、同孃は世界の婦人學生靑年同盟の議長として令名高く特に其尊き品格の光明は實に人間最貴の冠は品格にあることを示し萬人の尊敬を博せる處なり、フイシャル孃は「日本の婦人及び日本靑年會其の必要に應ずる方法」と題し最も有益なる演說をなし大なる喝采を博せりと云ふ、部長の祈禱に依り閉會したりき。

●モット氏の歐洲に於ける運動　氏の學生に對する運動は先づヲックスフヲルド、グラスゴ、ケンブリッジ大學に於てし夫れより和蘭、スカンデネビヤ、魯斯亞、獨乙、伊太利、スペイン、ポルチユガル、フランス、スイッルランドに趣き、專ら今日世界の問題たる支那の覺醒、南亞細亞、土耳古、亞弗利加等の活問題を提擧して各國の最も有爲有力の靑年が此等の國の爲に啻に宣敎師としてのみならす、敎育家とし、醫者とし、學術家として奮遞し以て此等の國民の開發進步を計り以て全世界に神の王國の擴張を勉むべきを奬勵するに在りとす而して其第一回の講演は倫敦の監督の司會に依つてアルベルト講堂に於てかれ開きたり、尙同氏は目下魯國に在つて同大學々生の爲めに活動を試みつゝあるが同國は舊敎國であり且つ非文明的のこと多き國なれば多大の妨害もあれば大に同志者間に祈禱を以て助力せられたきことを希望懇請し來たれり。

會報

●女子英學塾女子靑年會

一、本會々員總數(昨年末調査)百二十名。內正會員數四十二名。准會員數七十八名。滿十八歲以上の正會員數四十二名。十八歲以上の准會員數七十八名。

二、當會は當塾學生間に信徒たらんと欲するもの丶決心を强固ならしめたりと信じ申候其一證として昨年中に洗禮を受し者當會員中に六名有之候。

三、當會の聖書研究會の組織、研究法、及其科目は左の如くに御座候。

ミス、マクドナルド組　當塾の三年二年生の靑年會員を以て組織し每週一回、科目は使徒行傳。

ミス、マシユーの組　一年生の靑年會員を以て組織す、每週一回科目は馬可傳。

元田作之進氏組　准會員有志者を以て組織す每月一回、キリスト敎につき大體の思想を敎ふ。

役員受持の組　使徒行傳を敎ふる組五、馬可傳を敎ふる組二合せて七組にして每週一回なり。

當會聖書研究會總數は以上の十組なり。

四、當會は常に學生間に福音傳道の精神を發達せしめんと努め爲めに時々名家を請じて敎を請ひ居り候。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

五、當會の開催する集會の種類は左の如くに御座候。

總會　毎學期の終りに開く。

祈禱會　一般祈禱會は、青年會員有志者出席毎月一回。役員祈禱は、當會役員出席毎週一回。

講演會　時々名家を招きて敎を請ふ、出席者當塾生有志者。

役員相談會　必要に應じ之を開く。

親睦會　學期の始めに開く。

歡迎會　新入生ある毎に學期の始めに親睦をかねて開く。

當會は專ら塾生間に敎を擴むる爲めに聖書の研究に力を用ひ別に著しき事業を企て申さず候、只貧民の爲めに働かるゝ外村氏の事業に同情し當會員は毎月僅少ながら寄附致し居候、猶當會は會の擴張並に他の慈善事業を助け得るに至る希望の爲めに文房具販賣を爲し居り申候。

昨年中最有效なりし集會は、一月二十二日總會を開き山室軍平氏に敎を請ひし折に同氏の溢るゝ熱心當日出席者に多大の感を與へ青年會爲めに新元氣を得たることに候。

●青山女學院女子青年會

本院青年會は未だ成立後日淺く、これとて御報告申上る樣の事も無之候。此青年會は一昨年英文科生の間に組織致され居候處昨年の暮に至り、高等科普通科及豫備科にも設けられ、只今にては第一部（英文科）第二部（高三、四、五年）第三部（高一二年豫科）に分ち各部に委員長並に五六名の委員を設けて應分の力を盡し居り候。

今年中計畫致し候事少々申上ぐべく候。聖書研究會は未だ組織致さず候。其代り毎週木曜日には各部にて通學生の祈禱會を開き候。

傳道部の働きとしては

一、時々委員心を合せて一室に集り祈る事

二、先の傳道會社の後を受け幾分かの金を送りて琉球傳道を助くる事

三、左の働きを助けんため時を定めてある働をなす事

四、委員は互に一致して相互の間に秘密を挿ぬ樣に努る事

五、相當の室を得澁谷邊の貧兒を集めて日曜學校を設け最も獻身的精神を以てこれが敎育に當る事

宗敎部

一、毎日曜日午後三時半祈禱會を開く事

二、毎週木曜日の午後二時二十分より主に通學生の爲めに集會をする事

矯風部

一、我等の第一の務として校內の弊風を改め規律を守り校則に觸れざる樣になす事

二、校內の病人は勿論日曜毎に病院を訪問し花又はカード其他宗敎に係る雜誌等を與へて慰むる事

三、好機の際何かの働きをなし貧民に幾分にても送る事

勸誘部

一、常に己れの行を愼み時を與へられたるときは時を失はず人を導く事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二、常に朝夕の祈に未だ入會せざる人の爲に祈る可き事
三、水曜日午後一時より約三十分間祈禱を開く事
四、四月及び九月其他何れの時にても新入學生に對し停車場出迎其他懇切を旨とし青年會の主意を徹底し以て之を導く事

社交部

一、校友の親睦を計りて會の主意を未會員に通ずる事
二、校友の病氣見舞をなす事
三、特別說敎（辯士を招待したる時）のある場合に非宗敎學校の生徒を請待する事
四、送迎親睦會の必要なる時には主催となる事
五、青年會の庭園に草花を栽培して病人訪問又は會場裝飾用となす事
六、矯風委員を輔けて日曜日午後に赤十字病院訪問の事
七、訪問及び見舞の費用支出の爲め女學院繪葉書販賣及び或る種類の手藝をなす事

本會々員の數は

第一部　正會員　二十四名。准會員　七名。
第二部　正會員　四十五名。准會員　二十名。

●フエリス女學校女子青年會

一、青年會々員總數　百八十七人
內正會員　三十五人。准會員　百五十二人。滿十八歲以上の正會員　三十五人。滿十八歲以上の准會員　六十一人
二、多大なる力はあらざりしも、幾分かの力は確かにありしやう認められ候。
三、聖書研究會は有之候へども、組織及び方法とては別に御座なく候。昨年はパウロの書翰を研究し、今年よりは祈りてよ題にて研究致し居り候。
バイブルクラスは只此の點あるのみに候。
四、集會は祈禱會に候。學校全體の祈禱會、クラス／＼の祈禱及び寄宿生のみの祈禱會有之候。
事業は日曜學校、病院訪問、又便宜上並に青年會の事業を助くる爲め校內に於て日用品を賣捌き、或は裁縫などを致し居り候。
最も有効なりし集會は祈禱會にして、最も有効なりし事業は日曜學校に候。

●共立女學校女子青年會

一、青年會々員總數　百十六名
內正會員數　六十七名。准會員數　四十九名。滿十八歲以上の正會員數　五十八名。滿十八歲以上の准會員なし
二、當校青年會は學生の基督信徒たらんと欲するものゝ決心を強固ならしむるに大に力ありき。
三、當校にて每朝九時より九時四十分迄學科として聖書を敎へ居れど別に聖書研究會なるものを組織せず。
四、當校青年會は學生間に福音傳道の精神を發達せしめんと努めたり。
當校にある信者は不信者の爲め特別に祈りたり其方法は既に信者となりし一人の姉妹は未だキリストを受け入れざる姉妹の爲め名を擧げて祈りつゞけ其姉妹が全く信者になり終る迄祈りて止まざるなり。
幼少なる生徒に福音を述べ傳へんが爲め日曜學校を設け特に力を盡しつゝあり。
五、當校青年會の働きは左の五部に分てり。
傳道部、矯風部、祈禱部、慈善部、文學部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

右の會は毎月一回宛金曜日午後三時より各部長司會の下に開催し各々其趣旨に基き有益なる働きをなし居れり。
傳道部にては校內に在る學生に基督教を傳ふることを努め又日曜學校の爲めにも盡力せり。
矯風部にては校內の惡しき風習を破り教會に屬する內外の病人を見舞ひ之に花及び物品、金錢を送ることを働きとせり。
慈善部にては會員相集まりて編物をなし得たる金錢を貧困なる人々に惠與せり或は物品にて送ることもあり。
救世軍、孤兒院などへは每年寄附するを例とせり。
祈禱は校內の不信者の爲め一定の時を撰び特別に祈れり。
文學部にては其文學中に出來得丈け多く宗教趣味を加へ文學會を催す每に生徒の父兄を招き間接に基督教を紹介せり。
昨年度最も有効なりし集會は祈禱部にて、傳道部、矯風部などは其働きに於て成効せり。

◉京都同志社女學校女子青年會

一、總會員數　六十六人
內正會員數　五十一人。准會員數　十五人。滿十八歲以上の正會員數　十九人。滿十八歲以上の准會員數　二人

二、青年會は學生の基督信徒たらんと欲するものゝ決心を强固ならしめしと確信致候。

三、青年會聖書研究會は校外及び校內の同窓生によりて組織せられ每週月曜日午後三時半より一時間四條教會牧野牧師の申命記の講義あり。
其他臨時聖書研究會ありて新約全書の講義ありし事もあり。

四、青年會は福音傳道の精神を發達せしめんと努めたり、其方法としては時には求道者會を開き、時には特に通學生の爲め別に集會を設けて其一助となしたり。

五、青年會にて開催する集會の種類は報告會、祈禱會、役員會、通學生の爲めの會、聖書研究會。
事業は日曜學校、傳道部、音樂部、讀書部、通信部、花の部、訪問部。
昨年度に於て最も有効と認められし集會は諸聖書研究會、求道者會等にて次に日曜學校、傳道部などは有効なりし事業として認め申候。

◉廣島女學校女子青年會

一、青年會々員數
正會員數　二十名。准會員數　四十六名。滿十八歲以上の正會員　十五名。滿十八歲以上の准會員　四名

二、當青年會は學生の基督信徒たらんと欲する者の決心を强固ならしむるの力これなく候。

三、當青年會設立前已に每朝の聖書研究會及び特別聖書研究會なるもの設けありて求道者の爲めに計り居られ候間本會にて別に設け居り申さず候又未だ校外の働には力及び不申候。

四、當青年會は未だ外部に向て働く丈けの力御座なく候唯每月集會して相互の信仰を勵し居り候。

五、集會は每月一回祈禱會、二回或は三回仕事會を催し編物縫物等をなし集金を以て二會の朝鮮少女の學資の幾分を補助致し居り候。
會員の多くは每日曜日午後市內九所の日曜學校に出てゝ働き居候。
勿論日曜日の朝は本校內の日曜學校に出席し會員の或者は幼年部、少年部、成年部に於て日曜學校の教師及書記の任に當り居り候。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

YOUNG WOMEN OF JAPAN

Vol. VI. *January, 1909.* *No. II.*

Miss M.A. Whitman, Chairman
Dr. Kei Okami, Vice-Chairman
Miss A.G. Lewis, Recording Secretary
Mrs. G.M. Fisher, Treasurer
Miss Michi Kawai, Active Member of the World's Committee
Miss Sumi Miyagawa, Corresponding Member of the World's Student Christian Federation

Resident Members	Non-Resident Members
Miss A. B. West	Miss K. Tristram, Osaka
Dr. Tomo Inouye	Miss N. B. Gaines, Hiroshima
Miss Hama Hirano	
Mrs. Hana Ibuka	
Mrs. Koharu Nakajima	
Miss Uta Suzuki	

Miss A. Caroline Macdonald,
General Secretary

Headquarters:— 15 Dote Sanbancho, Kojimachi, Tokyo

明治の女子

一、「明治の女子」は日本基督教女子青年會中央委員が發行する機關雜誌也。

一、「明治の女子」は一年分郵税共金五拾錢一部郵税共金五錢とす。

一、日本基督教女子青年會は青年女子の衛生、社交、智識、靈性上の發達を計るための團體也。

一、日本基督教女子青年會中央委員左の如し。

委員長　エム、エ、ホイットマン
副委員長　岡見慧子
記録書記　エ、ジー、ルイス
會計　フィシャー
萬國基督教女子青年會同盟委員　河井道子
萬國學生基督教同盟會委員　宮川すみ子

東京在住委員
津田梅子　渡部瀧子
エ、ビー、ウエスト　井上友子
平野濱子　鈴木歌子
中島小春　井深花子

地方在住委員
大阪　ケー、ツリスツラム　京都　松田道子
京都　ジ、エス、フエルプス　仙臺　エル、ザフルー
名古屋　イ、エム、ソーパル　廣島　エヌ、ジー、ゲインス

日本女子基督教青年會幹事　エー、シー、マクドナルド
同副幹事　エス、シー、フキツシヤー

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治四十二年二月二十八日發行

YOUNG WOMEN OF JAPAN

Vol VI. *February, 1909.* *No. 11.*

CONTENTS

EDITORIALS :—

Culture and Religion

Fiftieth Anniversary of the Christian Work in Japan.

CONTRIBUTED :—

Love and National Characteristics Prof. Y. Kashiwai.

SERMONS :—

Life and Death Rev. Tsunashima.

The Revival Dr. J. D. Davis.

BIOGRAPHIES :—

Helen Keller

David Livingstone

LITERARY :—

The Key of Life Mr. Shirai.

A Woman of High Purpose

Obedience to Duty

MISCELLANIOUS :—

Foreign News;

Y. M. C. A work in America, Miss Fisher's address on Japan, Mr. Mott in Europe.

REPORTS :—

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA